

美術モデルってホントは
どんな仕事？
どうやったらなれるの？



美術モデルの仕事について
ご紹介します！

どんな仕事？

美術大学やアトリエ、カルチャースクールや絵画教室などで人物画のモデルとなるお仕事です。ジーンズやワンピースなどの普段着から、バレエやフラメンコ、フラダンス、ベリーダンスなどの踊りの衣装、または着物、サリー、アオザイ、チャイナドレスなど世界中の民族衣装を着る事もあります。モデルは立ったり、椅子に座って足を組んだり、地べたで膝を抱えたり、寝そべてみたり、様々なポーズを取って画家さんにどのポーズの絵を描きたいか決めてもらいます。(踊りの衣装の場合はポーズを取らずに、モデルが踊っている瞬間を描き手が捉えて描く(ムービング)というやり方を取る場合もあります。)ポーズが決まると、モデルは絵の制作のためモデルは同じポーズで一定の時間静止します。身体は動かなくても、画家さん達とエネルギーを交流させて、インスピレーションを与えあって、一瞬一瞬生きている生き物のように、創造的に線や色が重なって一枚の絵が出来上がっていく作業はワクワクする経験です。

この仕事をやっていて良かったと思えることは？

東京都内から埼玉、千葉、神奈川など様々な場所の絵の先生や生徒さんにお逢いするので毎日発見や学びの連続です。美術モデルとして芸術で美を表現する器になる事自体とても幸せな事だと感じますし、美しく色鮮やかな衣装、ポーズや表情などを追求して、描き手さんに喜んでいただけた時、素敵な絵になったと気に入ってくださった時、個展に出していただいた時、また、その絵をみた人達が明るい気持ちになったと言われた時など、たずさわる方々に喜んでいただけた瞬間に、この仕事のやりがいを感じます。絵を描かれる方は高齢の方々も多いので、休憩時間などにお話するだけでも、若さと元気をもらったと喜んで下さる方もいます。モデルのイキイキとした姿を描いていただき、エネルギーを交流させる事で、皆が笑顔で元気になってゆけたら、すごく素敵な事だと思います。

どうやってその仕事についたの？

私の場合はベリーダンスの師匠の紹介で今の絵画モデルの事務所を紹介していただきました。

仕事をする上で大切なことは？

モデルの一番基本はしっかりと挨拶ができて、明るく丁寧にコミュニケーションを取れる事だと思います。多様な先生や生徒さんがいらっしゃるので、色々な事を言われても、柔軟に対応できることも大切だと思います。モデルの仕事は、ある一定の時間同じポーズで静止して(基本は20分間ポーズを6回やり、その間に休憩を5分~10分挟みます)、休憩の後また同じポーズを取る必要があるため、ポーズを維持するからだの筋肉やバランスを磨くこと、同じポーズを再現するからだの感覚を磨く事が大事です。またからだと同時に、美しい絵画や写真、舞台、自然を味わって「美しい」と感じる心の感性を豊かにすることも大切です。具体的には、鏡の前で色々なポーズを取ってみて、「美しい」と感じる姿勢や動き、表情やからだのラインを見つけて、それをどう表現するか、見せ方や表現力を追求する事も勉強になると思います。